

バンコク国際モーターショーについて

バンコック駐在員事務所

小沢 康正

サワディーカップ。今回は『バンコク国際モーターショー』についてレポート致します。

今年で第38回目となるバンコク国際モーターショー(Bangkok International Motor Show、以下 BIMS)が開催されましたのでご紹介したいと思います。

BIMSでは四輪自動車はもちろん、二輪自動車・アクセサリ・カーオーディオ・タイヤ・自動車ローンや保険に至るまで、世界中の自動車メーカーや関連企業が最新の商品を表示・販売するイベントです。毎年数多くの来場者が訪れるとともに、その場で購入予約をすることが日本のモーターショーと比べて特徴的です。

タイ国内市場を見てみますと、2016年1~12月タイ国内市場の四輪自動車販売台数は、2015年後半の新品物税導入前の駆け込み需要の反動等により前年割れの769千台となりました。

2017年は政治経済の不透明感が薄れ、市場は回復するとの見通しが大勢を占めております。要因は景気回復や民間消費の拡大が予想されること、また2012年に実施されたファーストカー減税政策下の車両購入者の買い替え需要が期待されることが挙げられ、800千台程度の販売が見込まれております。

『展示場に花を添えるタイ人女性たち』

『タイ国内四輪自動車市場』

(単位:千台)



(出所:タイ日本商工会議所)



2016年は上記の通りタイ国内市場は前年比 3%と減少したものの、Mazda Sales(Thailand)Co.,Ltd.の販売台数は前年比 +8%の 42,537 台と売れ行き好調で、2017年は前年比 +18%の 50,000 台を計画しています。市場シェアは2016年 5.5%で2017年は6%を目指しています。

2017年 BIMS では四輪自動車購入予約台数 31,000 台(主催者発表)のうち、Mazda ブランドは 3,419 台とトヨタやホンダに次ぐ第3位と好実績でした。

東南アジア全体の四輪自動車市況は回復傾向にあります。タイ国内においてもプミボン前国王の崩御で広がった消費の自粛ムードが収束に向かっているとの見方もあります。

タイの四輪自動車販売が拡大する起爆剤として、BIMS が一定の成果を収めたのではないのでしょうか。これからも四輪自動車市況、特に Mazda 車から目が離せません。